

## 細江カトリック教会だより



冬号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura>

### 「主よ、来てください」

「細江カトリック教会」と、遠くからでも、すぐにそれとわかった鐘楼も白壁も姿を消し、嬉々として走り回る園児の声も聞こえなくなり、巨大なショベルカーの鈍い音だけが響く解体作業が間もなく終わろうとしています。2000年前、あの壮麗な神殿がローマ軍の攻撃の前に、あっけなく崩れ去り、エルサレムの町も灰燼に帰した光景が自然と頭に浮かびます。人が造り出したものは、いつか必ず終わりが来る、と自分にも人々に言い聞かせながら、そうした現実と直面したときの、やるせなさを禁じることはできません。

突然襲ってきた寒さと共に、典礼暦も終わりを迎え、待降節の日々を送っています。待降節は、主の降誕に向けて心を整える準備の時であるとともに、世の終わりに主が再び来られるまでの時を忍耐強く待ち望む時でもあります。長く待ち望まれた救いの到来を、新たな心で受け止めるとともに、待ち受ける未知なるものへの期待と不安を抱きつつ、来たるべき時に向けて、日々目覚めて生きるよう招かれています。

幼児としてこの世に生を受けられた主が、長じて人々に説かれた「神の国」は、人間の手の届かない、遠く離れた、理想郷のような別世界のことではありませんでした。むしろ、人々が生き、働き、喜びも悲しみも共にし、そして、

いつの日か生を終える、人間のありのままの現実の中に身を置かれた主とともに、自らの弱さを抱えつつ、仲間と共に、小さな歩みを重ね築いて行く、そんなプロセスのことです。

避難所のように狭く、息苦しい仮聖堂で、ささやかな降誕祭を迎えるわたしたちは、今年、飼い葉桶に眠る幼児を、より一層親しく感じることができるかもしれません。今なお、戦火で家や財産やすべてを失い、家族と離れ離れになり、不安と孤独の中に日々を送る多くの人々、思いがけない自然災害や事故で、大きな傷を負った同胞たちの心に、今まで以上に近づけるかもしれません。

### 「主よ、来てください」。

わたしたちの中の、最も小さな者に自らを同化され、そこから比類ない恵みの世界に導いてくださる方が、「新しい神の家」の誕生に向けて、わたしたちが同じ一つの希望のもとに日々を過ごしてゆくことができますように。

作道 宗三 神父

挿入画「ベツレヘムの住民登録」

ピーテル・ブリューゲル作



## 幼稚園仮園舎での生活 12月現在



運動会後すぐに、西神田町の仮園舎での生活が始まりました。「わたし、ここにいったあ」という園児さんの声にホッと胸

を撫で下ろしています。

職員室も広く快適です。平屋なので、全クラスの様子がわかりやすいですし、園庭にもすぐに出られるのが利点です。七五三祝福式やクリスマス会はここの体育館をお借りしました。神様が用意してくださったこの場所で、共に過ごした経験が、他にない良き思い出となりますように……。

下関天使幼稚園 福永

## 細江教会聖堂の思い出 IV



大親友の十字架上のイエスさま。思いがけず、あなたとお話するチャンスがいただきました。

この何十年間も毎朝6時3

0分、あなたの前に座ってお話しましたね。ある日は、椅子に座るや否や大声で泣きました。でも7時のミサが始まる頃には、心が穏やかにあなたへのメッセージを受け一日働くことができました。

風の日も雨の日も、小雪の日も、バイクであなたの元に走ることが喜びでした。

次から次に来る試練。「イエスさま、もう耐えられません。助けてください。」と、大声で叫んだこともありましたが、でも一度も信仰を捨てようと思ったことはありませんでした。

私には子どもや孫に残す財産は何もありません。でもキリスト信者(クリスチャン)信仰。神さまは共にいてくださると確信できる、信仰という財産を残しています。息子や娘や孫もしっかり受け継ぎ、あなたに喜ばれる生き方をしたいと行動しているのを見てくださっていますよね。

教会が新しくなるまで、あなたをこの目で見ることにはできませんが、今も毎朝、仮聖堂に座ってあなたと話せることが幸せです。

イエスさま、わたしの意向と行動と行為と働きがあなたへの奉仕と賛美になりますように日々努力いたします。

彦島教会 松本 喜代子



## 教会建替え状況

— 2023年12月(現在解体中) —

全体の工程ですが計画どおり、解体期間は今年11月から来年1月末までの3か月、新築工事は2024年2月着工で2025年2月が新聖堂の完成予定となっています。

解体にあたり、献堂から67年という長期の歴史を振り返り、一瞬一瞬の時の刻みを思えば、教会堂の解体の姿にお疲れ様の感謝の一言です。今後ますます教会の歴史が輝きを増し、一人でも多くの方が教会家族の一員となられるよう、細江教会の良い歴史を次世代に引き継ぎたいものです。

イエス像・ステンドグラス・祭壇・パイプオルガン等はほぼ引き継がれます。解体状況を少し掲載してみました。



\*ステンドグラスははいねいに取り外されて



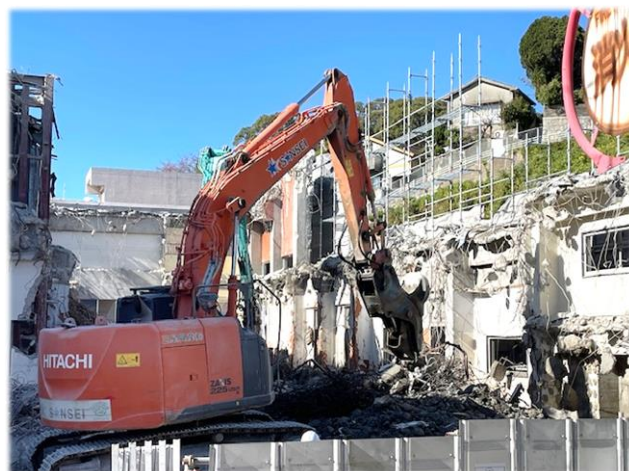
\* すっかり取り外された十字架上のイエスと聖櫃と  
スタンドグラス



\* 教会の聖堂の天井が解体されていく



\* 更に解体は進み・・・



\* 現在進行中・・・寂しさが増してきます

### 待降節黙想会 12/10(日)

講師：中井 淳 神父

～星を探して！～

クリスマス準備のお話です。



最初にテゼの歌で主を招きます。  
そして、絵本「もう一人の博士」を読まれました。  
イエスの誕生に3人の博士が贈物を持って来る話しは、毎年朗読されることですが、  
それ以外にもう一人いた博士のお話で、とても感銘を受けました。子どもたちは是非話したいと思いました。

4つのテーマでの話では・・・

① 喜び・・・あなたはどんな恵みを求めている？私もその応えはみつけれませんが、でもどんな使命も喜びがないとできないと思う。

② 受け入れる・・・マリアの受胎告知はマリアにもヨゼフにも受け入れがたいことですが、「おめでとう。恵まれた方、主があなたと共におられる」という、神の言葉にマリアは受け入れます。

\* 尊いあなたへ・・・水槽にいる金魚は見るが、その水槽や水は当然なもので見ない、感謝もされない。それを尊いというのです。あたりまえがあたりまえでないことに気づくことです。

③ 希望の道を選ぶ・・・この世の中に争いが続いているが、希望を持つこと。

二つの心「悲しんでいる人は、風が唸っている」「喜んでいる人は、風が歌っている」希望モードに変えること。

④ 出会いへ“マリアのマントの中へ”・・・神にできないことは何もない！

「あなたが幕の裏側で一生懸命に働いていたのを見たよ。がんばったね。神さまはいつも見てくださっている」と、優しく肩に手を置いて声をかけてくださったドイル神父さまの手のぬくもり。

・・・中井神父さまが日々働いている出来事には、困難な時も苦しい時も神さまが働いてくださり、助けてくださっていることが感じられました。

たくさんの恵みをいただいたお話でした。

「神さま！

喜びをどうぞ私の心に満たしてください。

今、皆さんの心の中にイエスという夢が与えられる。

神さまの愛が与えられる。

恐れることはない。

私たちが受け入れれば神さまの愛が宿される。」



T・H,, K

## ベトナム青年たちの馬小屋 2023



\* センターベランダに設置されました。

Merry Christmas!

☆☆待降節に思う・・・☆☆

9地区ごとの掃除当番。センターはいつも皆さまのおかげで綺麗になっています。

その中でも遠い所から時間をかけて、教会掃除のために来てくださる方々は、ほとんど高齢者？(他の地区も同じだと思いますが・・・)で約8名の方々が何に対しても助け合って協力しながらしてくれています。

いつもこのメンバーに思い浮かぶ言葉は『主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ』のみことばです。

イエスさまをお迎えする場所を整えて待つ・・・素朴な彼らの姿に、私の心は温かさでいっぱいになります。

見えなくて、分からないところで、黙々と奉仕をしてくださる皆さまに感謝する待降節を。



あなたの笑顔を忘れません！

新しい出発、神さまのみもとに・・・

11月 3日 マリア 林 吉栄さん

12月 2日 ペトロ 下田 敏夫さん